

● 北斗市教育大綱と平成27年度事務事業点検からの進捗状況

資料1

基本方針	施策の方向	主な内容	平成27年度の事務事業実施状況	平成27年度の評価
1 社会を生きる教育活動の推進	確かな学力を育む教育活の推進	○「知の保証プラン」により学習支援員や補助教員の配置、ICT機器の活用など教育環境と教育内容の整備・充実を図る。 ○9年間の学びの連続性と捉え、互いに連携して諸課題を解決していくことで、児童生徒のよりよい学びを実現できるよう小中連携教育のより一層の推進や小中一貫した教育を推進する。など	・基礎学力定着に向けたフォローアップ学習の取り組み ・チームティーチング（T T）の教員配置による指導方法の工夫改善 ・少人数・複式授業の補助教員の配置 ・対外競技等参加補助金の交付（小5,020千円、中11,406千円） ・教職員研修会の開催、教職員研修視察補助による自主研修の実施など	十分な事業水準にあり、将来への必要度も高く、今後も拡充を必要とする
	人の痛みがわかる豊かな心を育む教育の推進	○コミュニケーションの基本である「あいさつ」の大切さを認識し、実践と定着に向けた指導を推進する。 ○「特別の教科 道徳」を充実させ、自律的に道徳的实践のできる人間を育てる道徳教育を推進する。 ○市いじめ防止基本方針に基づき、早期発見、早期対応に向けた取組を行うとともに、不登校児童・生徒には学校復帰に向け家庭・地域・スクールソーシャルワーカーなどと連携を図る。など	・「あいさつ」は各校においてバラつきがあり、実践に向けた取組が必要 ・道徳副読本等を活用した道徳授業の実施（年間35時間） ・道徳授業などを通じた人権教育の実施 ・いじめ対応マニュアルの徹底 ・適応指導教室（マイウェイ）の開設 ・スクールソーシャルワーカーの配置	十分な事業水準にあり、将来への必要度も高く、今後も拡充を必要とする
	健やかな体を育む教育の推進	○基礎体力・運動能力の向上に向けた、指導内容や指導方法の充実を図る。 ○学校・家庭・地域において適切に食育を推進し、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身に付けさせるとともに、地域の文化や産業などについて「ふるさと北斗」の理解を深める教育を推進する。 ○フッ化物洗口の実施や薬物乱用防止教育などの健康教育を推進する。など	・運動習慣を身に付け、体力・運動能力の向上に向けた取組の実施 ・栄養教諭による健康教育・食事指導 ・給食だよりによる食材産地、食育に関する情報提供 ・総合的な学習による生産体験活動の実施 ・フッ化物洗口実施に向けた説明会等を実施し、平成28年度は全小中学校で実施	十分な事業水準にあり、将来への必要度も高く、今後も拡充を必要とする
	一人ひとりの学びを保証する特別支援教育の推進	○特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に対し、本人・保護者の意向を踏まえ、関係機関と連携を図りながら、一貫した指導が行われるよう、個別の支援計画を作成するなど、教育的ニーズに応じた組織的・計画的な指導や支援の充実を図る。 ○特別支援学級や通級指導教室担当者、特別支援教育コーディネーターの専門性の一層の向上のために研修機会の充実を図る。など	・教育支援委員会による障がいの程度の判定 ・判定に基づく教育相談及びニーズに応じた支援 ・学習支援員の配置（小 19人、中5人） ・特別支援学級の開設（小 9校22学級、中 4校12学級） ・通級指導教室「ことばの教室」の開設（在籍38名） ・総じて特別な支援を必要とする子どもは増加傾向にある	一定の事業水準にあり、今後も効率化を図りつつも、現在の水準の維持を必要とする
2 「ふるさと北斗」に誇りをもって	ふるさと「北斗」のまちづくりを促す教育の推進	○家庭・学校が町内会の行事に参加することや、子ども会・関係団体が町内会と連携し、子どもの自主性や社会性を育む活動を推進する。 ○「ほくと学ジュニア検定」や「ふるさとカルタ」などを通して郷土の自然や歴史・文化を学ぶ施設やよさを発見する機会の充実を図る。など	・町内会行事等への参加奨励 ・社会科副読本を活用した「北斗学ジュニア検定」の実施（参加210名）及び、「ふるさとカルタ」小中学校並びに町内会等への配布など	十分な事業水準にあり、将来への必要度も高く、今後も拡充を必要とする
	ふるさと「北斗」の自然を守ろうとする教育の推進	○ふるさと「北斗」の豊かな自然環境を理解し、守ろうとする意欲の育成と、地球環境保全について理解を深めるための教育活動を推進する。など	・海岸線クリーン作戦への学校による参加や自然体験学習等の取組み	十分な事業水準にあり、将来への必要度も高く、今後も拡充を必要とする
	ふるさと「北斗」の未来を拓こうとする教育の推進	○子どもたちの望ましい勤労観・職業観の育成に向け、実践的、体験的なキャリア教育を推進する。 ○「北斗」の主要産業や観光の振興にかかわる人々の願いや思いにふれ、主体的に他と協働しながら、ふるさと「北斗」の発展を考え、発信しようとする教育活動を推進する。など	・職業体験学習による職場体験の提供と土曜授業等を活用した教育環境を提供 ・今後も、ふるさと教育とキャリア教育の連携が必要	十分な事業水準にあり、将来への必要度も高く、今後も拡充を必要とする

基本方針	事務事業名	主 内 容	平成27年度の事務事業実施状況	平成27年度の評価	
3	推し進め校、 ・家庭 ・地域 が育支 のえ	地域総がかりの教育活動の推進	○地域・保護者が学校運営に参画し、学校・家庭・地域がそれぞれの立場で主体的に地域の子どもの成長を支えていけるよう、市や地域に対し積極的に情報を公開し、地域と歩む学校づくりの推進とコミュニティ・スクール化を検討する。 ○スマートフォンなどを用いる情報化社会の現状や環境浄化対策について家庭・地域への啓発活動を促進する。など	・学校評議会をはじめ、地域ごとの見守り活動などが学校単位で進められている ・各中学校区に存在する「健やかに子どもを育てる会」等の組織が活動しており、青少年の安全な環境づくりに貢献している ・平成28年度から地域連絡協議会を設置し、学校を核とした地域の活性化と学校運営に地域の力を導入	十分な事業水準にあり、将来への必要度も高く、今後も拡充を必要とする
	園と小など学校間の連携強化の推進	○幼児教育と小学校教育の円滑な接続のため、幼児と児童の交流やお互いの関係者が合同研修の機会を設けたりするなど、連携強化を図る。 ○学校と地域が協働して個性や能力を最大限に伸ばし子どもの健やかな成長を育むために、小中一貫した教育を目指すための小・中の連携や同一学校種間の連携、中・高の連携の強化を図る。など	・小学校への就学が円滑に行われるよう引継ぎカード等の作成や、教員の合同研修会を実施し、中学校進学時についても同様に実施している ・幼保小連携会議、体験入学等により、徐々に連携が図られてきた	十分な事業水準にあり、将来への必要度も高く、今後も拡充を必要とする	
4	境子 整備も た ちが 充 実 の 安 推 心 し て 学 べ る 教 育 環 境	安心・安安全に子どもの学びを保証する教育環境の推進	○小中学校中長期保全計画にそった学校施設などの長寿命化と防災機能の強化、並びに子どもの多様な学びに対応するため、学校設備の充実を図る。 ○安心・安全な通学環境に向け、学校・PTA・地域・警察等と協力し通学路の安全を確保する。など	・小中学校長期保全計画に基づき、計画的な修繕を実施 ・通学路交通安全プログラムにより、危険箇所の把握や点検を行いながら安全対策の実施に向けて取り組んでいる ・学習指導要領の改訂に向け、ICT機器導入についての検討が必要	十分な事業水準にあり、将来への必要度も高く、今後も拡充を必要とする
	小規模化が進む公立学校の魅力ある教育活動の推進	○教育水準を維持する観点から、特認校制度の充実を図るとともに「英語教育」「国際理解教育」や地域の自然環境、資源を生かした特色ある教育活動など、魅力ある学校づくりを推進する。 ○最適な学校教育の在り方に向け、統廃合を含めた検討と学校施設・設備の有効な活用を推進する。など	・小規模校の教育水準を維持するために、特認校制度を活用した学校づくりに力を入れ、各校の特色を生かした学校運営となっている ・余裕教室については、交流活動の場や相談室としての活用や、放課後児童クラブの会場としての活用をしている 今後の児童生徒の推移、保護者等地域の意見により統廃合を含めた検討が必要となってくる	十分な事業水準にあり、将来への必要度も高く、今後も拡充を必要とする	
5	習地 域の 推 進 教 育 力 向 上 と 生 涯 学	地域を元気にする生涯学習や社会教育などの推進	○様々な学習ニーズに応えるとともに、学習の成果を地域づくりや人づくりに生かせるよう、社会教育施設・設備や学習内容の充実を図る。 ○学校・家庭・地域が連携し、青少年活動の促進と青少年健全育成を推進する。など	・青少年から高齢者まで幅広い学習機会の提供と、サークル活動への支援及び発表機会の提供	十分な事業水準にあり、将来への必要度も高く、今後も拡充を必要とする
	子育てや家庭教育支援の推進	○保護者は子どもの教育の第一義的責任を有することから、子どもの心やしつけの問題など、子どもの成長段階に応じて計画的・継続的に家庭教育力を高める学習や情報交換などの機会の充実を図る。 ○「子ども・子育て支援計画」を基本に安全・安心に子どもを育てる環境を整備するとともに、放課後などに多様な学習を行うことができるよう放課後児童クラブなど関係部局との連携の強化を図る。など	・PTA研修会等による家庭教育力の向上を図っている ・放課後児童クラブ等の開設による子育て環境の整備	十分な事業水準にあり、将来への必要度も高く、今後も拡充を必要とする	
6	ポ芸市 術民 ツ・が 活 文 主 動 化 体 的 の 推 振 に 進 興 か と か さ わ る	文化芸術鑑賞機会の充実と文化財の保護と保存の推進	○優れた芸術文化の鑑賞意欲を高めるための公演事業や展示会の拡充と、各種サークル・団体の育成と発表機会の充実を図る。 ○文化活動推進のための指導者の育成と自発的な活動の促進を図る。 ○文化財についての理解を深めるため、文化財の展示や文化財に関する資料や情報提供による広報活動を推進する。など	・かなで〜る協会による公演事業の実施や文化祭、音楽祭等による展示・発表機会の提供 ・郷土の歴史を学ぶ機会の提供や資料館まつりなど文化財の保護活用と文化財保護思想の普及	十分な事業水準にあり、将来への必要度も高く、今後も拡充を必要とする
	生涯スポーツの推進とスポーツ施設の充実	○健康増進を目指したラジオ体操など、市民への運動についての意義啓発・参加促進と、スポーツ指導者の育成を図る。 ○市民のニーズに応えるために、市運動施設の計画的改修やスポーツ誘致に対応する施設・設備の充実を図る。など	・スポーツの振興を目指し、健康増進を目的とした各種スポーツ大会や教室等の事業を展開 ・運動施設の充実のため、運動公園拡張計画を策定 ・今後、子ども、保護者、高齢者をターゲットとしたラジオ体操コンテストなどラジオ体操の普及に努める	十分な事業水準にあり、将来への必要度も高く、今後も拡充を必要とする	